

沼間小学校区地域連合会(住民自治協議会) 第10回代表者会議 議事録

1. 会議概要

- (1)日時: 2019年2月23日(土曜) 15時00分~16時40分
- (2)場所: 沼間小学校区コミュニティセンター学習室
- (3)出席会員: 24団体 / 所属会員34団体 = 71% 【会議成立】
- (4)その他出席団体
協力団体(沼間小学校、沼間中学校、社会福祉協議会、エコ広場ずし、東部地域包括支援センター)
逗子市(沼間小学校区地域担当職員)
逗子市議員(松本氏、田幡氏、匂坂氏)

2. まとめ、決定事項

- (1)五桜会での降雨時の流水対策について、土石流対策とは別に、逗子市の方に働きかける【磯部事務局長】。
- (2)東逗子駅前ロータリーの夜間照明の対応を役員会で協議する。

3. 会長挨拶【曾志会長】

・こんにちは。最初は雨との予報が外れて、晴れてきましたが、まだまだ風は冷たい時期です。また、この中にも花粉症の方が居れることと思います。つらい時期ではありますが、この様にお集まり頂き、有り難うございます。本日の住民協代表者会議も皆様のご協力を得て、進めて参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

4. 議題

4.1 協議会活動(選択事業)

(1)主要道路渋滞緩和の取り組み【桜和会 小林氏】

- ・既に見て頂いているかと思いますが、バナーフラッグの取り付けが完了しています。その後、状況を見ていますが、バナーフラッグが脱落した所が発生しています。先日、沼十十字路の田浦よりにある斉藤ビル前に設置したバナーフラッグが外れて、どこかにいってしまいました。特別被害が出た訳ではありませんが、今は取れたままの状況になっています。それ以外にも、バナーフラッグを固定するインシュロックが2本切れている所が出ています。あれが切れるほどの風が吹いているなら、バナーフラッグ本体も少しは疵付いているかと思いましたが、バナーフラッグは何ともありませんでした。インシュロックが寒さのせいで硬くなったのが原因と思いますが、良く分かりません。もう少し様子を見て、必要ようなら、対処したいと思ってます。
- ・バナーフラッグも電柱マークも、今後3年間の保険に入っています。当委員会としては、一応3月末をもって解散しようと思っていますが、今後3年間は、私も含め当住民協として、保守を継続していきます。
- ・現在、県道渋滞対策委員会としての報告書を作っています。全体で100ページ位になります。先ほど、表紙部分を回覧させて頂きました。当報告書については、費用の纏めの所に、まだ不十分な箇所があり、そこをはっきりさせた上で報告書を完成させ、今年度3月末をもって、当委員会を解散しようと思っています。当委員会の名前は無くなりますが、活動は3年間続けさせて頂き、3年後の時点で、当住民協としてどうするか、活動を継続するか否かを検討していかなければならないと思います。
- ・電柱マークについては取れた所は有りませんが、多少の不具合が出てますので、3年間持つかどうか微妙なところかと思います。なお保険は、4月初~3月末の期間で掛けています。

【Q&A、C】

Q1: 電柱マーク、バナーフラッグの設置により右折車両がどの位増えた等の、効果確認はしないのですか?

【神武寺谷戸町内会 矢田氏】

A1: この活動を他地域にも展開する等の話があれば別ですが、今の所、効果確認の予定はありません【小林氏】。

C1: この活動により目に見えて効果が出るようなら、他の地域でもやるかもしれません【矢田氏】。

C2: 実際にはこの取組はかなり大変で、他で実施するのは多分難しいと思います【小林氏】。

【磯部事務局長から】

・この2年間の活動のご努力及びその成果に対して、拍手をもって感謝致したいと思います。⇒ 全員拍手

(2) 崖崩れ注意個所対策について〔磯部事務局長〕(資料配布)

(a) 経緯

- ・崖崩れ注意個所対策の中間報告を纏めました。お配りした資料をご覧ください。
- ・この崖崩れ注意個所対策は、2017年度に各自治会、町内会にアンケートを実施し、挙がった候補地について、2017年4月から12月にかけて4回の現地調査をしました。その中で緊急度が高い5箇所について、逗子市に対して対策要望を出しました。
- ・逗子市との協働として、2018年1月に市長に面談し、要望書を提出しました。
- ・その後、逗子市関係部署と2回の協議を実施しました。

(b) 東町内会(沼間6-12-7:崖崩れ)

- ・東町内会の所は、2017年度に現場確認に行った際も、小石がぼろぼろと落ちてくる危険な状況でした。
- ・その後、所有者がコンクリートを吹き付ける簡易工事を実施しました。本対策を県に要望するために、現在の所では、住民の署名がほぼ全部集まっており、後一箇所残っているかどうかの状況と聞いています。
- ・今後の目標としては、2019年3月に逗子市より県土木に、「急傾斜地崩壊危険区域」の指定要望を出します。その後は主体が県に移りますが、県の方で調査予算を取り、2020年度には県より指定を受けるものと思います。実際の工事実施には、さらに2、3年程掛かる状況とのことです。

(c) 神武寺谷戸町内会(沼間2-5:土石流、沼間2-3:崖崩れ)

- ・神武寺谷戸町内会に関しては2箇所あり、沼間2-5の方は土石流が主体で、現場確認に行った際に、近所の方が出て来られ、「何年か前にここでは1m程の水が出た。」とのお話を伺いました。
- ・こちらについては、2018年10月に「急傾斜地崩壊危険区域」への指定要望が、県に出されています。2020年度末には、県より指定を受けたいと思っています。
- ・沼間2-3の方は、急傾斜地の崖崩れが懸念される所です。前年(2018年)に、かなり大きな崖崩れが起こっており、色々な防護柵が破損した状況になっています。
- ・ここについては、2019年1月28日に県土木と逗子市都市整備課が現地調査をしまして、今年3月中には、「急傾斜地崩壊危険区域」の指定要望を出し、2019年度中には予算が確保され、2020年度末までには、県より指定を受けたいとの予定です。当住民協としては、逗子市に定期的に進捗状況を確認していくつもりです。

(d) 五桜会(桜山5-13:土石流)

- ・五桜会の所は、雨が降ると直ぐに水が溢れる状況にあるとのことです。この状況と、危険区域としての対策は、別に考えてます。日頃から水が溢れる状況に関しては、逗子市と別途話をしたいと考えています。
- ・本日の話では、土石流が懸念される所として、説明させていただきます。ここは両側が山で、谷のような形になっておりますが、この両側の山の崩落対策は、本工事が既に終わっています。
- ・問題は谷の両側の上流の山が崩れた場合ですが、これについてできることは、住民の皆さんをタイムリーに、如何に避難させるとかの対策が必要と思っています。逗子市の協力も得て、五桜会と私が話し合い、ここに書いてある様な、ソフトウェア的な対策を検討していきたいと考えています。
- ・二番目の神武寺谷戸町内会の2-5に書いてある、五桜会のノウハウとは今お話したことです。ここに関しても、同様の土石流が懸念されており、五桜会と共に作ったノウハウを、こちらにも展開していきたいと考えています。

(e) 東逗子海光町内会(神武寺ハイキングコース:倒木)

- ・東逗子海光町内会の倒木は、2018年10月に根元から伐採され、完了しました。

(f) マイキャッスル参番館管理組合(東逗子会館裏山:倒木)

- ・マイキャッスル参番館の倒木については、2019年2月に大きく剪定されました。
- 取り敢えずは解決ですが、三年もするとまた伸びてくる可能性もあり、引き続き注目していきたいと思っています。

【Q&A】

Q1: 五桜会の所では、先の話にありましたが、雨が降るといつも道の両側に水が流れてきており、困っている状況にあります。逗子市に対策してもらえるかどうかの回答はありますか?〔五桜会 前田氏〕

A1: 私の方では認識してませんでした。都市整備課に確認致します〔逗子市 村松氏〕。

A2: この件に関して、五桜会として特に要望を出しておらず、逗子市としては、何も認識していないのが現状だと思います〔磯部事務局長〕。

C1: 先日の役員会で、五桜会とソフト面で話をすると結論が出ましたが、私はその後、現地を見てきました。

前田さんともお話をし、現地の写真を撮ってきました。浸水地のもっと上流の民有地と市有地の境界付近で、どちらに属すか分かりませんが、下水の所が土砂等で塞がっている状況が分かりました。この結果、大雨の際は排水が下水に流れず、道路を流れることで出水していると思われます。それと、急傾斜地対策で県が工事した下に下水が作ってあるのが、全て土砂等で埋まっているために、山から来た水が下水を流れずに、道路を流れる状況にあります。当住民協としても、この件は逗子市の都市整備課か緑政課に話をし、早急に対策を要求すべきかと思います〔工藤副会長〕。

Q2:冒頭お話ししましたが、当崖崩れ注意個所対策と今の話は、ちょっと違った問題だと思います。

該当箇所は土石流として取り組んでおり、五桜会としてこの問題を取り上げるのなら、別途対応について、五桜会と話合いたいと思います〔磯部事務局長〕。

Q2:近隣に民間の避難場所を探すとの話ですが、誰が探すのですか？〔桜和会 小林氏〕

A2:逗子市が主体として対応することと、認識しています。当地域の避難所は、沼間小学校区コミュニティセンターになっていますが、避難距離が遠いということは認識しています。桐ヶ谷市長との具体的な話し合いは、先になりますが、新市長の方針として、これから民間の小さな避難所を設置していきたいとの意向をお聞きしています。この件は、市長が来てお話しする際の項目に、必ず入れたいと思います〔磯部事務局長〕。

Q3:五桜会ではなく、逗子市が探すのですか？〔桜和会 小林氏〕

A3-1:逗子市が探して、借り上げを含めて対応すると、聞いています〔磯部事務局長〕。

A3-2:2月4日に磯部事務局長と逗子市の話し合いでは、都市整備課職員と防災安全課長も、同席させて頂きました。

五桜会の該当箇所は、土砂災害ハザードマップでは、土砂災害警戒区域であるイエローゾーンとなっています(土砂災害特別警戒区域であれば、レッドゾーン)。ここは、イエローゾーンであることから、気象情報等が出た時の情報伝達の仕方や、避難の確保とかが求められます。

席上、磯部事務局長に防災安全課長から、「今後まめにご相談させて頂いて、(先程、磯部事務局長はソフトウェアとおっしゃられていましたが、)そういった避難等についても、何時でもご相談させて頂きます。」ということをお答えさせて頂きました〔逗子市 村松氏〕。

【磯部事務局長から】

・崖崩れ注意個所対策の活動は、ご説明させて頂いた方向で、対応させて頂きます。

・それとは別に、五桜会さんが、現在困っている降雨時の流水対策について、逗子市の方にしっかり働きかけることをやりたいと思います。

(3)東逗子駅前ロータリー美化・活用について〔工藤副会長〕

・先月に対して、特に進展はありません。

今後も、保守を継続していきます。以上です。

【Q&A】

Q1:美化ではないのですが、東逗子駅前ロータリーが、夜間に非常に暗い問題があります。あの付近は、市道とJR用地が接する所で、ロータリー側は完全にJRの敷地です。そこにベンチが置いてあり、照明が無いことから、特にあの辺が暗いです。今後、どのようにしていく話でしょうか？〔桜和会 小林氏〕

A1:その件についても、色々調べました。周りの道路も含めて、東逗子駅前ロータリー全体が、JRの敷地になっています。当初ロータリーの周辺道路は逗子市の物かと思い、消防署の方に何とか照明が付かないかと相談しましたが、東逗子駅前ロータリーに関しては、周辺道路も含めJRの敷地とのことです。また、東逗子駅前ロータリー利用に関する逗子市とJRの覚書はないそうです。ロータリーの道路についても、JRの方で保守することになっています。JRとしては、現時点で照明をつけるつもりは無いとのことです。

先月お話ししましたが、東逗子駅前ロータリーの管理について、JRと石像管理の岩田事務所と当住民協とで、覚書締結の話をしたいと言っていますが、今の所連絡はなく、日程を決めることができません。その際に、JRの方に照明設置の話はしたいと思っています〔工藤氏〕。

Q2:その覚書には、逗子市も入るのですか？〔小林氏〕

A2:逗子市は入りません。逗子市の用地は、東逗子駅のトイレの半分の所のみです。市の案内板を設置している所もJRの土地で、看板設置を承認して貰っています。

Q3:我々住民協としても、JRに照明を設置するよう、働きかけてみませんか。

あそこは、夜は顔が見えない位暗いです。夏場に若者が悪さをするかもしれないし、あそこは東逗子の顔であり、明るくすべきだと思います。JRがもし動かないようなら、警察署なり、逗子市の方からも協力をして貰って、プレッシ

ヤーを掛けたら良いのでは・・・[小林氏]。

A3: 昨年に前市長が年に一、二回 JR との連絡会を実施しており、その際に照明の話もして貰うことになっていましたが、その後の状況はわかりません[工藤氏]。

Q4: 皆が集まる駅前が、あんなに暗いのはどうかと思います。逆に反対側で電気がいっぱい付いている所には、人が集まり易いと思います[小林氏]。

A4: パーキングができた逆の所が、民間からJR 関連会社の管理になりました。そこから歩道側の方に向けて、一つ照明を付けて欲しいとの要望ができるか思います。但しベンチの所は確かに暗いですから、何らかの対応は、必要かと思います。東逗子の駅前ですから、再開発より先に明るくするのは、良いことかと思います。今後は先程の三者の覚書検討の際に話したいと思います[工藤氏]。

【磯部事務局長より】

・この件について、皆さんの忌憚のないご意見を伺いたいと思います。是非進めようとお気持ちでしょうか？
いかがですか？

C1-1: 駅前ロータリーのベンチは、どこが設置したものか、明確になっていません。あそこは JR の土地であることは分かっていますが、ベンチを持ってきたのはどこで、誰が責任者であるのでしょうか？

昔のいきさつを言うと、かなり前にはロータリーの中に照明用電柱が設置されてましたが、照明が故障後に撤去されてしまいました[沼間一丁目自治会 高橋氏]。

A1: あの電柱は JR が設置したのは確かです。横山前駅長から、「10 年程前に照明が故障したが、周辺住民から特に苦情も出ないことから、最終的に撤去した。」と聞いています[工藤氏]。

C1-2: あのベンチが JR が設置した物なら、JR に強く言えると思いますが、どういう風に関係していくのか、私には良く分かりません[高橋氏]。

C2: あのベンチは、多分、ふれあい広場で幾つか作った物を、(設置許可を得ているかは分かりませんが)善意であそこに設置したのだと思います。2 種類ありますが、どちらもそうだと思います[田幡氏]。

【磯部事務局長より】

・東逗子駅前ロータリーに関しては、キチンとしていない事が多いかと思います。

この辺のことは、照明だけに限らず役員会で問題点の整理をしたいと思います。

あの場所は何なのか、あの場所に置いてある物は何なのか、関係者は誰なのか、最終的な責任者は誰なのか、整理をして、責任者に当住民協として問題点を整理して、持っていけないといけません。

役員会で整理し、検討結果をまたここで、ご報告致したいと思います。

(4) 沼間小学校通学路の児童見守り活動について [東逗子子供会連合会 曾志光子氏]

・2 月 5 日に、沼小の教頭先生と校外委員会の会長さんと PTA 会長の勾坂さんと私で、打合せを行いました。

打合せ内容は、以前に校外委員会さんが避難所ステッカーについてのアンケートを取って下さった結果について、今後どのように進めていくかについてです。

・教頭先生から、「緊急避難所」という言葉がちょっと重々しいということでの提案がありましたが、同様に逗子警察署からも「子ども 110 番」という名目にしたらどうか、との話もあります。

また、ポスターの絵柄は子ども達から募集することで、より認識を深めるのでどうかとのことでした。

もし良ければ、今年のゴールデンウィークが 10 日間もあることから、宿題にしても良いとのことでした。校長先生の許可を得て、沼間小学校全学年の宿題にする方向です。

・以前お話したように、久木住民協でのステッカー配布の状況をお聞きしました。避難所ステッカーが久木住民協の中で廃止になった後、ハイランド自治会さんだけが実施したとのこと。そこでは保険も掛けず、マニュアルもない中で、作成したステッカーを玄関先に下げて頂けますかと住民に募集したところ、100 名近くが手を上げてくださったとのことでした。

・今、校外委員会さんとは、あくまで掲示して頂くことによる抑止力ということで、お話が進んでいる所です。実際、避難してきた子ども達を、玄関の中に入れるのどうかということになると、この形が変わってきますが、あくまで抑止力という形で考えています。沼間小学校区でも、以前自治会さんにお配りした「目玉の大きな絵柄の防犯というステッカー」と同様に、子どもに対しての緊急時の抑止力としての「子ども 110 番」であり、「何かあった時は、110 番だよ、PTAだよ、沼間小学校区だよ。」ということをお知らせするステッカーになっていくことと思います。

(5)防災対応力向上(防災備品融通)〔高橋徹氏〕

- ・12月に沼間の南台から、防災備品の表を戴きました。残り1箇所、500世帯以上の団体から、防災倉庫の棚卸が済んだら出してくれることになっているので、それを待っている状況です。
- それを記載し、来月の代表者会議で、一覧表を配布したいと思います。

4.2 逗子市審議会・懇話会等の報告

(1)住民自治協議会連絡会〔曾志会長、磯部事務局長〕

(a)曾志会長から

- ・2月6日に、各住民協の会長、副会長、理事長等が集まり、住民自治協議会連絡会が開催されました。沼間、小坪、池子、久木、逗子の5つの住民自治協議会が初めて揃いました。但し逗子は、住民協の準備団体が立ち上がっている状況で、桜山地域の方が出席されました。
- ・桐ヶ谷市長にも出席頂き、「この住民協活動は前市長から引き継いで、しっかり継続していく。」との話を頂きました。市長からの具体的なお話については、当代表者会議に出席頂いた時に直接詳細に聞いて頂きたいので、私の方からは、要点のみをお話致します。
- 市長からは、「地域ごとに問題点が違います。沼間住民協においては、バスや崖崩れ等ですね。私も一緒になって考えていきます。特に防災は一番重要ですが、逗子市内はまだまだ完璧にはなっていない状況です。行政だけではやっていけず、皆様のお力を借りてやっていくことが大事です。」との話を戴きました。
- ・当住民協しても、市長に要望を出しながら、一日も早くこの会議に出席頂けるよう、日程を組んでいきたいと思えます。予想では総会後になるかと思えます。

(b)磯部事務局長から

- ・昨日、市役所で会議が有り、市民協働課長と話をしました。市長には、当住民協の総会にはご出席頂きます。但しその際は、あまり長くお話し頂く時間は取れないと思えます。
- ・市民協働課長の話では、桐ヶ谷市長は、当地域の問題として三点(病院問題、東逗子駅前開発の問題、ミニバス等の公共交通手段)については、認識されているとのことです。ただ、直ぐにどうする等の十分な準備ができている段階ではないので、それに関しては少し時間を頂きたいとのことです。
- ・先の連絡会議には、曾志会長と私も出席致しました。少し補足しますと、市長は防災についてのことを大変気にされており、冒頭、次の問題認識を申されました。
- 「防災対応については、時間帯を考慮する必要がある。夜・土日・祭日等住民が皆そろっている時間帯と、平日普段の日中で若い働き盛りの方が市内にいるとは限らない時間帯では、対応を変えなくてはならない。また、市役所職員の7割が市外に住んでいることも考慮して、対応を考えなくてはならない。」とのことです。

(2)逗子市地域福祉活動計画懇話会〔高橋徹氏〕

- ・2月19日に、逗子市地域福祉活動計画懇話会が開催されました。
- 2015年から8年間の計画で、市の地域福祉計画、それから社協の地域福祉活動計画を、昨年法律が多少改正になったとのことで、今回見直しをすることになりました。
- ・この懇話会で話われた下記三つの柱を基本に、新しい案が出てくると思えます。
 - ①互いに支えあう地域づくり:市民活動を上手くコーディネートしていくこと
 - ②互いに支えあう人づくり:福祉教育の充実
 - ③互いに支えあう環境づくり

5. 地域の団体活動について

5.1 自治会、町内会、管理組合からの報告

- ・今月は、ズシッ沼間地区連合会小池会長に、お願いしました。

(1)沼間3丁目町内会から〔ズシッ沼間地区連合会 小池氏〕

(a)概要

- ・ズシッ沼間地区連合会、沼間興人熟年会の小池と申します。活動状況について、ご説明致します。
- ・まずズシッとは、前身は逗子老人クラブ連合会であり、現在新しい名称で「ズシッ」となりました。
- ズシッとは、絆と友情と船出を意味する逗子パートナーシップ、逗子フレンドシップを合わせた造語です。
- ズシッの広報誌は、年4回発行し、会員外にも配布しています。

・逗子市ズシッポ連合会の組織は、現在 33 クラブ、会員数は 1,442 人で成り立っています。

その内、沼間地区連合会は、現在 6 ブロック、会員数は 283 人となっています。

6 ブロックの内訳は、第 2 クラブ、第 3 クラブ、宮下クラブ、年輪会、東会、興人熟年会の 6 つです。

(b)活動

・沼間地区連合会の事業は、毎月第 2、第 4 土曜日、当コミュニティセンターで執行部会、役員会を行っています。内容は、理事会での報告及び説明、クラブ会長会議での報告及び説明、沼間地区行事予定表での説明、それから年一回の総会、その他として沼間小学校だより、沼中だよりを配布しています。

・ズシッポの通年事業として、シニア健康教室、オープンカレッジ講座、旅行、クラフトアート教室、サークル活動、カラオケ(鎌倉と逗子の交流会)、ボーリング大会、グランドゴルフ大会、運動会、春・秋・年末の全国交通安全キャンペーンへの参加、ズシッポ寄席、新年パーティとか高齢者の集いに参加しております。

・沼間地区連合会の参加イベントは、地域防災訓練への参加、地区運動会への参加、カラオケ大会、演芸大会、社会奉仕の日、統一運動への参加、キャンドルナイトの参加等を行っています。

・また毎月、沼間月例会を開催しており、毎回 50 名前後が参加しております。

内容は、ズシッポ連合会田中理事長からの挨拶を始めに、毎月内容は変わりますが講話が 20 分間位あります。講話の内容は、逗子警察署よりのオレオレ詐欺、交通安全、防犯等についての話、逗子消防署よりの防災とか暖房機器等の取り扱いに関する注意の話、健康相談室の田中保健師さんよりインフルエンザとか健康に関するお話、地域支援事業のスライドによる説明、ラジオ体操等を行っています。

・カラオケ大会は、30 名前後の歌手により行っています。それから、各クラブによる合唱、踊り等をやっています。

・9 月の月例会は敬老祝賀会、1 月の月例会を新年祝賀会として開催しています。

・毎回例会を盛り上げ、楽しく一日を過ごしています。

(c)問題点、悩み

・一番の問題点は、会員数が年々減少する傾向にあることです。

・また、悩みとしては、80 歳前後の人の集まりとなり、70 歳前後の人が会員にならないことです。

ちなみに、第 1 クラブ、第 4 クラブの消滅原因は、会員及び役員の成り手が居ないためでした。会長さんが亡くなり、健康状態の悪化等により会長を辞退されるのが原因です。その後の担い手が居ない訳です。

・現在第 1、第 4 クラブの会員は、第 2、第 3、宮下クラブに分散し、加入されているのが現状です。

・現在、事務局より、南台ハイツ自治会でクラブをつくるよう頼まれまして、勧誘を進めてきました。

南台ハイツ自治会に行き、会長さん及び長老の人にお会いし、南台ハイツクラブの立ち上げに対して、ご協力、ご尽力をお願いしたところです。現在、会員数は 10 名となり、後 20 名程度増やすように、お願い致しました。

1 クラブ 30 名になると、補助金が 27,600 円出ることにあります。

(d)今後について

・アーデンヒル自治会での、クラブの立ち上げを進めたいと思っています。

・皆様、各自自治会、町内会のアドバイスをお願いし、沼間地区連合会の発展と維持していくため、宜しくお願いしたいと思います。以上です。

【Q&A、C】

Q1:・アーデンヒルの手塚です。磯部事務局長から、ズシッポさんがアーデンヒルでの会員を募りたいとの話をお聞きました。2 月度の班長会に早速諮りましたが、私を含めて役員、班長の任期がそろそろ終わりで、交代の時期となります。現在、総会の準備でとても忙しい状況であり、班長会での話合いの結果、この件については、継続的に考えていこうということで、次期役員、班長への引継事項ということで、次年度以降、検討していくことにしたいと思います。

・話が少し戻りますが、防災備品の融通の件、500 世帯程というのは、我々の自治会のことでして、ご迷惑をお掛けし申し訳ありません。当初、11 月中旬に防災備品の棚卸をすることになっていましたが、12 月中旬位に、棚卸の結果が私の所に出てきました。発電機等で既に使えないものがありました。そこで、防災部の方で買増しする物等の検討を、再度実施しております。組み立て式の簡易トイレ等は沢山ある一方、無くなった物もあり、その辺の所を防災部の方で検討している最中です。防災担当の方が体調を崩して遅れており、申し訳ないのですが、間もなく纏まると思っています。どうぞ宜しくお願い致します[アーデンヒル 手塚氏]。

Q1:ズシッポの活動は、我々自治会の活動と、どうリンクしているのですか？今の話では、班長会に掛けて協議するとか、アーデンヒル自治会の中にズシッポの組織を作る感じがしたが・・・。

私は、自治会は自治会、ズシッポはズシッポで別の組織だと認識しており、我々の所はそれで動いています

が…。他はどうしているのですか？〔桜和会 小林氏〕

A1:自治会の中に、下部組織の様に、高齢者を集めて老人クラブを作り、そこでクラブ会長さんを決めてやっています。自治会とは離れており、別の組織です。自治会は1年任期の所が多く、老人クラブでそうすると、消滅してしまいます。長老を集めて、その中で会長、副会長、会計を選んで頂き、それで動いています〔小池氏〕。

Q2:ズシップ会員の年齢資格は、何歳以上になっているのですか？〔曾志会長〕

A2:一応60歳以上となっています。今、段々高齢の人が亡くなったりして、会員が減ってきています。60歳過ぎの人に声を掛けても、まだ会社に勤めているので入れないとか、退職後にやりたいことがあるので無理ですか、と言われて、70歳前後の人が少なくて困っています〔小池氏〕。

Q3:今の話を私なりの解釈で纏めると、ズシップのクラブをアーデンヒル自治会に作ってくれと言うことではなく、アーデンヒルには多くの住民が居ることから、おそらく老人も沢山居ると思われるので、アーデンヒルの中に、自治会とは別に、ズシップのクラブを作って、そこでは会長、会計等を(自治会の様に1年任期で変わるようではなく)任命して、継続的な組織として運営して欲しいという要望ですね〔磯部事務局長〕。

A3:その通りです。現在、アーデンヒルから2名の会員が参加しており、その人達は第3クラブに配属されています。その人達も何年か前に、アーデンヒル内を勧誘で歩いたそうです。それでも皆断られ、今は二人だけになっています。ということで、宜しくお願い致します〔小池氏〕。

C2:我々グリーンヒルには、年輪会という名前の老人会があり、自治会の下部組織になっています。自治会の方から、年輪会に補助金を出しています。年輪会の中に、別に会長を作って運営してます〔グリーンヒル 渡辺氏〕。

5.2 関係団体からの報告

(1) 沼間小学校PTA〔沼間小学校PTA 勾坂氏〕

・新年度のPTAの役員が、決まりました。私も9年間程やってきましたが、子どもが卒業したことから、交代致します。新会長は妹尾さんという方で、曾志さんのご近所の方です。今後も宜しく、お願い致します。

(2) 東逗子子ども会連合会〔東逗子子ども会連合会 曾志実氏〕

・先日定例会があり、東逗子子ども会として、新年度もやっていくことになっています。

会長は引き続き、私が担当させていただきます。

・ご報告があります。逗子市では子どもの数が減ってきており、池子連合会は次年度から活動休止となります。逗子連合会は今年度から休止してます。小坪連合会は1地域1単区で継続してます。久木連合会は頑張っています。東逗子連合会は、3単区で引き続き活動して参ります。

・子どもさんが減っていますので、1人でも2人でも、是非子ども会に入ってもらいたいと思います。最近、昔の様な、うるさいオヤジが居なくなったせいか、陰で悪さをする子もいるようですが、子ども会に入っている子には、そのような子は一人もいません。自治会が盛んな所では、子ども会も盛んです。今後も宜しく、お願い致します。

【Q&A】

Q1:我々の所も同様に、子どもの数が減って、子ども会が無くなりました。二桁に届かない数の子どもたちでは、子ども会が維持できません。他の子ども会に入りたいとの話がありますが、どのようにしたら良いですか？

〔神武寺谷戸町内会 矢田氏〕

A1:有難い話です。他の子ども会に加入することは可能です。私に言ってくだされば、対応致します。

桜山子ども会では、ミニバスケットボールをやっていて、沼間単区からも加入しています。

桜山子ども会は、桜山4～6丁目の地区の子どもたちが加入しています。

保険を掛けますので、自宅を出たところからイベント開催先まで担保されます〔曾志氏〕。

(3) 杜の郷〔杜の郷 田邊氏〕

・お世話になってます。外ではインフルエンザが流行っていますが、中では入所者、職員を含め、インフルエンザにかかる者が居らず、助かっています。

・一つ紹介があります。日頃介護に関わっている方が、病氣や怪我等で介護が出来なくなった緊急時に、一時的に入所する体制ができました。介護保険に加入しており、ケアマネージャーが居ることが前提ですが、電話を頂ければ緊急対応できる仕組みです。緊急時には、是非ご活用頂きたいと思います。

(4) 結生(ゆい)〔結生 矢部氏〕

・2月19、20日、21日に、三浦の初声に入所者の方々と葛狩りに行ってきました。大変好評でした。

また来週も、26,27,28 日と葛狩りに参ります。

・昨年末に沼間 6 丁目に引越し、今年初めから営業しております。お蔭様で、見学依頼も増えております。

ただ、駐車場の舗装工事が残っており、対応を検討している所です。私達の所では、休みが日曜日の一日のみであり、土木屋さんの話では気温が低いこの時期ではコンクリートが 1 日で固まらないとのこと。

残念ながら、工事は梅雨明けの 7 月以降になる予定です。駐車場は敷地内ではありますが、暫く砂利の状態で、我慢することになります。

(5) 東逗子商栄会〔東逗子商栄会 匂坂氏〕

(a) 2 月の大売出し(配布資料)

・昨日の 2 月 22 日(金)から本日 23 日(土)に、東逗子商店連合会の 2 月の大売出しを開催しております。

1,000 円お買上ごとに、スピードくじ 1 枚を贈呈しており、金券が当たります。当選確率が 50%と、非常に有利です。

(b) 月例朝市

・3 月 3 日(日)8:00~10:00 に朝市を開催します。お買上の方先着 150 名様に、野菜のプレゼントがあります。ぜひ、ご参加ください。

・4 月は、7 日(日)に開催します。こちらは、各町内会・自治会で回覧願います。

こちらにも、またご参加をお願いします。

(6) ホタルの里の会〔ホタルの里の会 松本氏〕

・お世話になっております。2 点ほどご報告をさせていただきます。

(a) 大場先生の視察

・先月お話致しましたが、2 月 15 日に大場先生がお見えになり、田越川、元木沢等 4 ケ所のホタルの生息域をご検分頂き、改善への様々なご意見を頂きました。杉山会長、桐ヶ谷会長、工藤会長を始め、地域の皆様にご参画頂き、直接ご指導等を戴きました。実はその中で、防災との関連の話が出ました。

(b) 環境と防災について(茨島先生のご講演)

・今日、市役所の方に、八戸市水産事務所所長 茨島氏を、市民防災セミナーにお呼びしました。

茨島先生は、東日本大震災発生時、八戸市災害対策本部で被害状況の取り纏めや、避難状況の把握に従事された方で、当時の体験談や、自助・共助の大切さについて、ご講演されました。何故ホタルの環境と防災が関係あるのかという点について、大場先生と茨島先生の講演を私の方で、コーディネートさせて頂きました。

・防災工事で崖がコンクリート漬けになっている状況を、皆さんご存知かと思います。また、川の護岸もコンクリート漬けになってしまうのも、今迄の常識でした。これをなんとか緑が再生する方法で工事しているのが、杉山会長の所の元木沢沿いの急傾斜地工事です。逗子市で初めてのノンフレーム工法という、緑が再生する工法を取っています。それでホタルの再生を願っています。それから、曾志会長の地元の福祉会館の脇の沢についても、先ずは安全工事最優先で、ホタルの飛ぶ沢が破壊されたのですが、その後、緑が再生する工法を、国の補助金を貰って作っている訳です。つまり、防災工事をしながら、なんとか環境を守ろうという活動に繋がっている訳です。

・実はこれは、防災という活動の広がりにも、非常に貢献していることになります。防災というと皆さん非常に関心があると思われがちですが、関心のある方は一所懸命活動されている一方、関心のない方は自分の家の備蓄すら無い状況です。すなわち、防災的な縦割りの考え方ではなく、例えば防災と環境、緑も増やしたいけれども、防災はしなければならない。これらを繋げることにより、お互い活動が広がっていく可能性がある、とのご指摘なのです。

・茨島先生に、当小学校区の皆さんに作って頂いた「防災施設マップ」をお見せしました。逗子市は 5 万 8 千人都市であるのに対し、八戸市は 20 万人都市で、全然規模が違うのですが、地域でこのような防災活動をして下さっているのは大変有難いことで、尚且つ各自治体レベルでの拡大図を作りましたといったら大変驚いており、是非もっと詳しく聞きたいと、おっしゃっていました。

・それと共に、ホタルを始めとする環境への取り組み、これらを上手く融合することで、我々は行政の皆さんに良く縦割りだと言いますが、実は市民活動自体が縦割りになってはいないかという問題提起がここでもなされた訳です。是非とも、沼間小学校区の皆さんと、環境と防災という点を結び付けて頂いて、より広い関心を広めていくことについて、新たな課題を戴いた次第です。今後共、ご協力の程、お願いしたいと思います。

(7) ずし子ども 0 円食堂〔代読 曾志会長〕(資料配布)

・2 月 6 日(水)に、ずし子ども 0 円食堂を開催しました。参加者は 57 名(子ども 28 名、大人 29 名)です。

- ・雨が降って出足を挫かれましたが、関東学院大学から3名の大学生が、ボランティア活動に来て頂きました。2名が調理希望で、一人暮らしをしている男子学生が、とても手際よく調理頂きました。身体を使って思いっきり遊んでくれた大学生は、子ども達の人気者です。
- ・今回返子フルートアンサンブルリサエティのメンバ2人が、フルートの演奏をプレゼントしてくれ、贅沢な食事のBGMになりました。
- ・寒さ、お天気等いろいろありますが、集まってくる子ども達は、皆笑顔です。ボランティアさん、スタッフも、お互いの友好関係もしっかり育っています。
- ・今回は、3月6日(水)16:00から、開催致します。

5.3 協力団体からの報告

(1) 沼間小学校〔沼間小学校 小島氏〕

- ・いつも、お世話になっております。
- ・沼間小学校では、1月からインフルエンザに掛かる児童が沢山出ており、1年、3年、5年で1学級の閉鎖をしておりました。その後、減少するかと思っていまして、2年に1学級の閉鎖が出て、さらに1年生の1クラスでは、昨日10人程の休みが出ており、週明けの状況を見ていく状況です。
- また、教職員も教頭を始め、インフルエンザにかかる大人も出ており、頑張らなくてはいけないと思っています。
- ・そのような中、6年生は3月20日の卒業式に向け、卒業文集や卒業製作に取り組んでいます。
- また、1年生から5年生は、お世話になった6年生に感謝する「6年生を送る会」に向けて、呼び掛けや合唱、ダンス等の練習をしています。今後も、どうぞ宜しくお願い致します。

(2) 沼間中学校〔沼間中学校 関氏〕

- ・いつもお世話になっています。中学校の方では、インフルエンザにかかる生徒は、ぼろぼろとは出ていますが、学級閉鎖になる程の状況ではありません。
- ・2年生は、1月末に返子市内の各事業所で、職場体験をさせて頂きました。生徒達は就業体験をして、とても良い表情で戻ってきました。貴重な体験になったことと思います。有難うございました。
- ・また、毎年この時期には、沼間愛児園から児童を迎えて保育体験ということで、園児と遊ぶ体験を行っています。2月28日に、「5歳児の避難お迎え体験」を実施致します。中学生でもお手伝いできることとして、今年は手始めに、途中まで5歳児を迎えに行き、手を繋いで中学校まで避難させることを計画しています。
- 愛児園さんでは、5歳児以外の園児も、保育士さんが引率して、途中まで避難致します。
- ・3年生は、高校受験や進路決定の山が過ぎ、特別授業になっています。2月27日には、公立高校の受験結果が発表されます。期待が半分、ドキドキが半分の状況です。3年生の卒業式は3月11日となっています。
- 今暫く見守って頂きたいと思います。

(3) エコ広場ずし〔エコ広場ずし 吉水氏〕(配布資料)

- ・エコ広場ずしで、沼間を担当している吉水です。いつもお世話になっております。
- 3月は、1日(金)、2日(土)の両日、10:00～16:00に、当コミュニティセンターにて、出張エコ広場を開催しますので、是非ご利用ください。

(4) 社会福祉協議会〔社会福祉協議会 三富氏〕(資料配布)

- ・いつもお世話になっています。災害救援ボランティアセンターと災害繋がりでありますが、こちらの資料について、お伝えさせて頂きます。例年、3月11日前後に第一運動公園のスマイルの方で、ボランティアセンターの設置運営訓練を行っておりますが、今年度につきましては、今一度、ボランティアセンターについて勉強してみようとのことで、3月9日(土)10:00～12:00、返子市役所の方で、「災害救援ボランティアセンターとは何か？」とのタイトルで、セミナーを行います。
- ・昨年9月に、私は広島県の豪雨災害後に5泊6日で支援活動に行ってきました。そちらのボランティアセンターというのは、行政、社協とは繋がっておらず、地域の中でボランティアセンターを立ち上げました。そういった中で、そこでは、どうしても上手くいかない部分や幾つかの課題があり、それを私の方からお話させて頂きます。
- それを踏まえた上で、神奈川県共同募金会事務局長で災害支援プロジェクト会議メンバである中島さんに、お話をさせて頂きます。災害時に色々な地域を回っている方で、ボランティアセンターのあるべき姿ということで、お話を戴くつもりです。

・災害発生時には、逗子市災害本部から社協の方に指令が出て、社協が中心になり、ボランティアセンターを立上げます。規模にもよりますが、恐らく場所によっては、100人、200人と大勢のボランティアの方がいらっしゃいます。社協の方でニーズを調査し、上手くマッチングして、皆様の方に支援を提供したいと思っています。避難所に関係する方や、自治会の皆さんには、こういったボランティアセンターが立ち上がり、その際の連携も含めて、考えて頂きたいと思います。お時間ございましたら、是非皆さんご参加頂ければと思っています。チラシが不足するようなら、私の方からお渡し致します。

(5) 東部地域包括支援センター〔東部地域包括支援センター 宮崎氏〕

・いつも有難うございます。前回宣伝させて頂きました、地域支え合いフォーラムが、2月7日(木)に市民交流センターにて無事に終わりました。県社協主催で、社協さんと一緒に包括も参加させて頂き、元気なサロンを目指してということで、地域づくり、サロンづくりについてお話をさせて頂きました。包括からの地域ケア会議の報告にて、現状についてのデータをお話した後、ユニークなサロンのご紹介を幾つかして、最後にサロンに関わっている皆さん、サロンにご興味があり初めてそういう会議に顔を出した方達にも、ご参加頂きグループワークをしながら、「これから元気な地域づくり、サロンづくりがどんな風にできるか？」というお話を致しました。とても前向きに終えることができた、とのご意見も戴きまして、たいへん有難く思っております。これからも、サロン活動だけではなく、地域の中で色々なご相談を頂ければ、と思っております。

(6) 五霊神社から〔五霊神社氏子会 杉山氏〕

・2月3日(日)に、節分の豆撒きを実施しました。最初の内は人が集まらなかったのですが、お父さんに連れられた子どもが、今回は珍しく来ました。その後、一気に階段まで、人が溢れる状況になりました。
・また桐ヶ谷市長、田幡市会議員にも参加して頂き、盛大に豆撒きを行いました。
・皆様に奉納して頂いた品物も、殆どが配られ、無くなりました。
・警備に関しても、怪我も事故も無く、終わりました。有難うございました。

6. 地域の情報共有

6.1 行政からのお知らせ

(1) 行政からの紹介〔逗子市 村松氏〕

(a) 第一回市議会定例会から

・市議会の様子を少し報告させて頂きます。少しややこしいのですが、市議会の開会招集は市長がしますが、その後の日程は、市議会が決めます。第一回定例会の会期は、2月22日から3月19日までとなっています。
・会期初日の昨日2月22日(金)の本会議におきまして、桐ヶ谷市長から、平成31年度施政方針及び予算提案説明がなされました。
その中で、この沼間小学校区に関連する部分がございますので、私の方で読み上げさせて頂きます。

(b) JR 東逗子駅前用地について

市の魅力を高める取り組みとして JR 東逗子駅前用地の有効活用については、用地の南側に隣接する民有地を一体的に利活用することが、当該用地の価値を最大限発揮することに繋がることから、まずはこれを前提とした取り組みを進めて参ります。その上で、駅周辺の活性化、そして公共施設の再配置に加え、移動に不自由な高齢者等が生活関連施設の整った駅周辺に住替えすることも視野に入れて、検討を進めます。こうしたことから、平成30年度末までを策定の目途としていた基本構想は、改めて検討をする必要があるため、平成31年度中の策定を目指すことといたします。

・このように市長は、施政方針で述べられています。

・先般、沼間会館で説明会を開催させて頂いた際に、基本構想案という物をお示し致しましたが、今年度中に、この案をとるということで動いて参りました。ここで、それを1年間延ばし、平成31年度中の策定を目指すということで、用地南側民有地の一体的利活用を考えるということを、市長が施政方針の中で述べられました。

・引き続き、市では経営企画部企画課が担当部署になりますので、またご質問等ございましたら、お寄せ頂ければと思います。

(c) 総合的病院の誘致について

特に慎重に検討していくべき重要課題として、総合的病院の誘致につきましては、地元医師会や医療関係者など、多方面からのご意見をいただきながら、当初の公募条件を満たした、市民が望む病院の実現に努めていきます。

・市長は、このように述べられております。

(d) 予算の提案説明(地域自治の対応について)

地域自治システム推進事業は、各小学校区の住民自治協議会及び準備会等に対する運営支援のための経費として、302万円を計上しました。

・こちらにつきましては、財政対策前の基準に戻した予算を、市議会に提案させて頂いています。

(e) 代表質問

・この後、市長の施政方針及び予算提案に対する代表質問が、2月28日、3月1日に行われます。

田嶋議員、匂坂議員も登壇される予定となっています。市の方からは以上です。

・市長の施政方針は、今まだ載っていませんが、市のホームページに掲載の予定ですので、機会がありましたら、お読み頂ければと思います。

6. 2 議員からの情報

・本日は、匂坂議員にお願いしています〔磯部事務局長〕。

《匂坂議員から》

(1) 第1回定例会から

(a) 平成31年度予算について

・今行政の方から平成31年度第1回定例会について話が有りましたが、私の方からも平成31年度第1回定例会について、少しお話致します。昨日22日から、平成31年度第1回定例会が開催されました。

・この定例会では、平成31年度の一般会計予算、ならびに4特別会計の予算審議が行われます。

平成31年度は、この財政対策プログラムの2ヵ年目になりまして、基本的には、この方針を継続する形で、予算編成となっております。保育所の待機児童対策や幼児教育保育の無償化などにより、扶助費については、前年度に比べ大幅な増加となりましたが、財政対策プログラムによる人件費や事業費の削減等の取り組みを継続することになり、職員の定年退職者増による財政調整基金の繰り入れは見込むものの、平成30年度に引き続き繰越金を含めた臨時財源に過度に依存しない予算案となっています。

・また、そのような中で小児医療助成の中学校卒業までへの拡大や、ブロック塀撤去に対する補助の開始など、喫緊の課題の対応や、財政対策プログラムの縮小事業の一部復活の他、公共施設等の適正管理及び長寿命化対策など、厳しい中での取り組むべき予算配分になっているかと思えます。

(b) 他の議案について

・その他の議案としましては、平成30年度の一般会計の補正予算、ならびに4特別会計の補正予算の審議も行います。

・またその他の議案としては、逗子市と葉山町との容器包装プラスチック処理施設の整備運営に関する事務の事務委託に係る協議、という議題もあります。これは、逗子市と葉山町が容器包装プラスチックの共同処理をするに当たって、整備運営に関する事務の協定をするということに関する協議をする、という議案です。

ちなみに、2020年度4月から、葉山町の容器包装プラスチックの受入れを開始する予定です。

逗子市にとっては、単独処理よりも共同処理により、年間約1700万円のコストメリットがある、とのこと。

・続いて、逗子市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正についてです。これは財政対策の取組みとして、市長、副市長、教育長の給与月額について、減額措置を講じるに当り、条例改正するためです。市長が100分の50減額(公約通り50%カットです)、副市長は100分の15減額、教育長は100分の10減額、副市長、教育長の減額は、平成30年度と同額です。ちなみに市議会としまして、1月の臨時会において、議員報酬について、平成30年度と同様に、減額を可決・承認していることを、申し添えておきたいと思えます。

・続いて、逗子市小児の医療費の助成に関する条例の一部改正についてです。これは、子育て支援策の一環として、通院に関わる医療費の助成対象年齢を拡大するものです。今は小学6年生まで通院した時は、(所得制限が有りますが)医療費が無料になっています。これを中学3年生迄に拡充するために提案されたものです。

・先程、行政の方から話が有りましたが、市長の施政方針及び予算提案を受けまして、2月28日、3月1日に、

代表質問が行われます。

その後、3月4日からは、各常任委員会の審査、それから予算の特別委員会が設置されまして、審議をされます。また、基地対策特別委員会、病院特別委員会の方も開会し、3月19日迄の会期となっています。

(c)平成31年度財政対策プログラム

- ・平成30年度からの財政対策プログラムを継続してまいります。削減総額については、872,709千円となっています。ちなみに、平成30年度の削減額は、719,855千円で削減額が増えています。この主な理由は、国民健康保険の特別会計の法的外繰り出し金の削減や、ゴミ処理の広域連携による歳入増と歳出減の部分があります。また平成31年度からは、保育所の保育料の会計もあり、こういった部分で差が出ています。
- ・ちなみに、平成31年度からは、8事業が新たに廃止、縮小となります。一方、11事業が復活する予定です。平成31年度に予算が復活するものについては、先程報告がありました地域自治システムの推進事業が、復活をします。また、学校支援事業として、小坪小学校の登下校時の交通整理員の配置や、高齢者センターの浴場再開が予定より早く7月から対応するもの、生ゴミ処理機の購入時の助成、木造住宅への耐震補助金の復活、その他教育関係もありますが、図書館の開館時間の変更も提案されています。午後6時という閉館時間を、今後土、日曜日を午後5時迄として、利用者が多い水、木曜日を午後7時にするということが、提案されています。
- ・今、議会が始まったところですが、このような議案等が提案されており、しっかりと審議していきたいと思っています。桐ヶ谷市長は、財政対策プログラムで廃止、削減された事業に関しては、平成30年度の決算が出る、9月の状況を見た上で、今後復活する部分についても、手法等を含めて実施の可能性を検討していくということになっています。今年度いきなり復活するのではなく、平成31年度もまだまだ財政が厳しい中ですので、平成30年度の決算状況を踏まえた上で、削減されたものを今後検討していくというお考えのようです。以上です。

6.3 その他〔出席者からの情報、意見、要望〕

(1)卒業式の件

- Q1:逗子市内の各小学校から、卒業式の案内が来しました。従来は届いてなかったと思いますが、これはどういったことでしょうか？また、卒業式の日取りが違っていたかと思いますが・・・〔桜和会 小林氏〕。
- A1-1:毎年、各小学校の校長から、自治会、町内会の会長さん宛てに、卒業式の案内状を送付してます〔小島氏〕。
- A1-2:卒業式の案内状の件は認識してませんが、逗子市立の小学校の卒業式は、皆同じ日で、(開式時間は、若干異なっているかもしれませんが)3月20日に実施の予定です〔村松氏〕。

(2)連合会の地図の件〔磯部事務局長〕

- ・宿題になっていた当住民協の地図を作成し、配布致しましたので参考にしてください。
- C1:地図の作成有難うございました。活動場所が分かるようになりました。
後できましたら、ホテルの活動についても、地図があると有難いです。田超川も広いので、どこどこを掃除すると言っても良くわかりません〔望月氏〕。
- C2:それはホテルの里の会で作って頂ければ、こちらで配布致します〔磯部事務局長〕。
- A2:清掃の際の集合場所は3カ所、行き易い方に集まって頂いています。ご不明な点等は、お問い合わせ頂ければ、ご説明申し上げます。また、手薄な箇所等もわかりますので、それに沿ったご案内も致します。
ホテルの会の方で、広報版を勾坂さんと協力して作成していきます。

7. 連絡事項

(1)第11回代表者会議 3月23日(土) 15:00~17:00 沼間小学校区コミュニティセンター

(2)次回役員会 3月15日(金) 19:00~ 県営逗子桜山ハイツ集会所

以上